

新体制・キャンパスで進める 次代に生きるICT教育

大阪電気通信大学



2021年に学園創立80周年を迎えた大阪電気通信大学。22年春に就任した新学長の下、先進的なICT教育やキャンパスリニューアルを推進。Society 5.0といわれる社会に役立つ人材の育成を目指し、進化を遂げようとしている。

制作・東洋経済企画広告制作チーム

80周年を超えて 踏み出した新たな一歩

大阪電気通信大学は、工学系大学として、高い技術力と人間力を備え、社会に役立つ人材を育成してきた。社会の変化に柔軟に対応し、工学から情報、医療、ゲーム、建築などへと教育領域を拡大。つねに時代の要請に応える人材を輩出し、存在感を放っている。2021年10月に学園創立80周年を迎え、22年4月には塩田邦成新学長が就任。未来を見据えて新たに歩み始めた。

「少子高齢化に伴い労働力人口が減少の一途をたどる中であって、今後社会が持続的に発展していくために、これまで以上に高い能力を持った多様な人材を育成していくことが、高等教育機関である大学に課せられた使命です。そのためには今日まで工学教育で培ってきた力をさらにバージョンアップしていかなければならないと考えています」と、強い決意を語った塩田学長。「そのための核となるのが、情報教育です」と言う。

各分野で活躍する人材を育てる 先進的なICT教育

同大学は開学当初から情報技術の重要性に着目し、情報教育を強みと

してきた。情報通信工学部や総合情報学部はもちろん、全学部・学科で先進の情報技術を取り入れた教育を展開している。中でも注目を集めているのが、工学部建築学科だ。

同学科では、18年4月の開設時から「BIM (Building Information Modeling)」を取り入れた教育に取り組んでいる。BIMとは、企画から設計、施工、さらには建設後の維持管理を含めた建築に関わるあらゆる情報を一元管理できるプラットフォーム。建築業界を変えていく次代のツールとして、徐々に浸透しつつある。同学科では、BIMソフトウェアを導入し、「BIM実習」などを通して実際に使いながらBIMの基本を習得するカリキュラムを整備している。

この取り組みは、このほど文部科学省の「令和3年度デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業DXをけん引する高度専門人材育成事業」に選定された。全国の100近い応募大学・高等専門学校の中からえりすぐられた39大学等の1つになったことも、その先進性を物語っている。「今後、BIMと連携した人流解析や熱流体解析、ドローンを用いた3次元スキャンングシステムなど、新たな機器やソフトを充実させていく予定です。BIMやコンピュータシミュレーションなど建築におけるICT

教育をさらに進化させていきます」。

また医療健康科学部でも先駆的なICT教育を推進する。「リハビリロボットなどが普及していく今後、理学療法士にもICTの素養は不可欠なものになる」として、理学療法学科では、高度な計測・分析機器や数値解析ソフトを用いた動作解析処理など運動解析の実習を通じた学びをカリキュラムに組み込んでいる。そのほか医療科学科では、医療機器のICT化への対応はもちろん、生体情報のみならず病院経営に必要とされるIoTやAI技術についても学ぶなど、多様な分野に生かせるICT教育を行っている。

加えて、全学横断的なICT教育

にも注力する。その1つとして数理・データサイエンスやAIについて学ぶ全学共通プログラムを開講している。文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」への応募にも意欲的だ。「今やICTが使われない分野などありえませんが、全学を通じてICT教育を通して、ICTの知識・スキルを強みにそれぞれの専門分野で活躍できる人材を育てたい」と塩田学長は力を込める。

学びの形を進化させる 新校舎が竣工

られた新校舎が竣工した。新校舎では、専門の学問分野を超えて学びを広げているオープンな教育環境を具現化した。特長は、学科や研究室を隔てる「壁」を取り払ったことだ。研究エリアに当たる学生ラボに教室や研究室はなく、高さ120センチを超えない家具で間仕切りしただけの広いワンフロアを各学科が共有する。同様に実験エリアも1カ所に集約し、全学科が共同で使用する実験室も設置した。日常的に他学科の研究の様子を見聞したり、学科を超えてプレゼンテーションや展示を行うことも容易にできる。学生同士、教員同士、あるいは教員と学生の交流を促進する空間を実現した。

音楽プレーヤー、雑誌、財布まで多種多様な機能が詰め込まれ、それらがつながり新しい価値となったスマートフォンのような大学。さまざまな知が混ざり合い、新しい価値を生み出している大学であり続けたい。ここで学んだ学生は、Society 5.0といわれる社会でもたくましく生き抜き、日本の発展に貢献してくれると信じています。そう力強く語った塩田新学長の下、社会に革新をもたらす人材の育成に邁進していく。

学長
塩田 邦成



「社会の変化に応じて変われる大学、そして社会の変化に対応できる人材を輩出する大学であり続けたい」と塩田学長。「1つの専門分野を極めるだけでは、もはや新しいものを生み出すことはできません。異なる分野の知見や技術を組み合わせることで、イノベーションを創出できる。そのために専門性を磨きながら多様な分野に知見を広げていける教育が必要だと考えています」。そうした時代が求める新たな教育・研究を実践するべく、同大学は今、変革を遂げようとしている。現在進めているのが、寝屋川キャンパスのリニューアルだ。22年3月には、「OECUIノベーションスクエア」と名付け

「理想とするのは、電話にゲーム、

【お問い合わせ先】

大阪電気通信大学
広報部広報課

072-824-3325
https://www.osakac.ac.jp

寝屋川キャンパス

〒572-8530
大阪府寝屋川市初町18-8

四條畷キャンパス

〒575-0063
大阪府四條畷市清滝1130-70

大阪電気通信大学 学部・学科

工学部

・電気電子工学科
・電子機械工学科
・機械工学科
・基礎理工学科
・環境科学科
・建築学科

情報通信工学部

・情報工学科
・通信工学科

医療健康科学部

・医療科学科
・理学療法学科
・健康スポーツ科学科

総合情報学部

・デジタルゲーム学科
・ゲーム&メディア学科
・情報学科